



亀田弘行教授

# 亀田弘行教授略歴

## (学歴・職歴)

昭和14年	9月8日	大阪市に生まれる
33年	3月	同志社高等学校卒業
38年	3月	京都大学工学部土木工学科卒業
40年	3月	京都大学大学院工学研究科修士課程土木工学専攻修了
43年	3月	京都大学大学院工学研究科博士課程土木工学専攻単位修得退学
43年	4月	京都大学工学部助教授（昭和61年9月まで）
61年	10月	京都大学防災研究所教授（平成14年3月まで）
平成10年	1月	理化学研究所地震防災フロンティア研究センター長（兼任：平成13年3月まで）
13年	4月	独立行政法人防災科学技術研究所地震防災フロンティア研究センター長 （併任：平成14年3月まで）
14年	3月	京都大学退職
14年	4月	独立行政法人防災科学技術研究所地震防災フロンティア研究センター長

## (受賞)

昭和	45年	5月	土木学会論文賞受賞 「地震時における最大地動の確率論的研究」
	59年	3月	第10回交通協力会・交通図書賞 亀田弘行他「新鉄道システム工学」（山海堂）
平成	2年	3月	第16回交通協力会・交通図書賞 亀田弘行他「土木構造物の診断」（山海堂）
	9年	11月	国際構造物の安全性・信頼性学会賞（IASSAR 賞）
	10年	9月	国土庁・防災功績者表彰
	11年	5月	兵庫県功労者表彰（防災功労者）

## (学会等)

平成	4年	5月	関西ライフライン研究会座長（平成13年4月まで）
	6年	5月	自然災害学会理事
	6年	9月	地理情報システム学会理事・防災GIS分科会主査（平成14年3月まで）
	7年	10月	地域安全学会会長（平成9年11月まで）
	11～15年度		科学研究費特定領域研究「日米共同研究による年地震防災の軽減」領域代表
	11～15年度		科学技術振興調整費多国間型国際共同研究「アジア・太平洋地域に適した地震・津波災害軽減技術の開発とその体系化に関する研究」研究代表者

(委員等：主に平成6年以降)

(平成6年以前からの継続)：

- ・ 阪神高速道路公団技術審議会委員
  - ・ 日本学術会議 地震工学研究連絡委員会委員 (平成9年10月まで)
- 平成6年 12月 (財)原子力発電技術機構 発電炉部会 PSA 分科会及び発電炉部会 PSA 分科会 地震ハザード評価ワーキンググループ主査
- 7年 1月 建設省道路局 兵庫県南部地震道路橋耐震対策委員会委員  
(平成8年1月まで)
- 7年 2月 中央防災会議防災基本計画専門委員会委員 (平成8年2月まで)
- 7年 2月 科学技術庁 地震防災科学技術推進検討委員会委員 (平成8年2月まで)
- 7年 2月 阪神高速道路震災復旧対策技術委員会委員 (平成8年3月まで)
- 7年 2月 (社)日本下水道協会 下水道地震対策技術調査検討委員会委員  
(平成9年1月まで)
- 7年 4月 西宮市水道局 西宮市水道復興計画検討委員会委員 (平成7年6月まで)
- 7年 5月 大阪市土木・建築構造物震災対策技術検討会委員 (平成9年6月まで)
- 7年 5月 京都府地震に強い京都づくり懇話会委員 (平成9年3月まで)
- 7年 8月 建設省国土地理院 GIS 研究会委員 (平成9年3月まで)
- 7年 8月 (社)日本水道協会 水道施設耐震工法指針・解説改訂委員会委員  
(平成8年7月まで)
- 7年 10月 大阪市水道管路耐震化検討委員会委員長 (平成9年まで)
- 7年 10月 三重県地域防災計画被害想定調査委員会委員長 (平成9年3月まで)
- 8年 1月 京都南部都市広域行政圏推進協議会広域防災専門委員会委員  
(平成9年1月まで)
- 8年 5月 科学技術庁研究開発局航空・電子等技術審議会地震防災研究基盤分科会委員 (平成10年5月まで)
- 9年 1月 文部省国際局 文部省学術審議会専門委員 (平成11年1月まで)
- 9年 4月 (社)日本下水道協会 下水道施設地震対策指針会議等改定調査専門委員・技術調整小委員会委員長 (平成9年9月まで)
- 10年 4月 日本原子力研究所 地震情報緊急伝達システム等研究専門部会主査  
(平成13年3月まで)
- 10年 7月 (財)道路管理センター 財団法人道路管理センター評議員  
(平成12年6月まで)
- 12年 4月 兵庫県 科学技術会議委員 (平成14年3月まで)
- 12年 12月 東京大学空間情報科学研究センター 外部評価委員会
- 13年 6月 文部科学省研究開発局科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会
- 13年 9月 内閣府 専門委員
- 13年 10月 震災予防協会 評議員
- 14年 1月 近畿圏における広域防災拠点整備・連携方策策定調査委員会委員
- ◎その他、城陽市、新潟市、大阪市、長岡京市など自治体の地域防災計画専門委員

# 亀田 弘行 研究業績

## 論 文

発表年	論 文 名	発 表 誌 名	共 著 者
1964	一柱式橋脚の振動解析と耐震性に関する研究	土木学会論文集 第109号, pp.1-9.	後藤尚男
1966	杭基礎上の橋脚の地震応答について	土木学会論文集 第131号, pp.7-18.	後藤尚男
1967	松代群発地震地域における橋りょうおよび地盤の震動観測結果について	京都大学防災研究所年報第10号A, pp.201-219.	後藤尚男・土岐憲三・ 横山謙夫・秋吉 卓・ 石田昌弘
	松代群発地震地域における震動観測結果について	土木学会論文集 第145号, pp.1-11.	後藤尚男・土岐憲三・ 横山謙夫・秋吉 卓・ 石田昌弘
1968	構造物の不規則振動における最大応答の確率分布について	京都大学防災研究所年報第11号A, pp.239-253.	後藤尚男
	強震観測装置による松代群発地震記録の解析	京都大学防災研究所年報第11号A, pp.275-290.	後藤尚男・土岐憲三・ 横山謙夫・秋吉 卓
	地震動における最大地動の確率論的研究	土木学会論文集 第159号, pp.1-12.	後藤尚男
1969	えびの地震および1968年十勝沖地震の余震観測結果について	京都大学防災研究所年報第29号A, pp.67-85.	後藤尚男・土岐憲三・ 秋吉 卓・小西純一・ 吉原 進
	構造物の不規則振動における最大応答の確率分布について-定常入力に対する過渡解-	京都大学防災研究所年報第29号A, pp.289-299.	後藤尚男
1971	Probability Distribution of the Maximum Response of Structures Subjected to Nonstationary Random Earthquake Motion	Memoirs of the Faculty of Engineering, Kyoto University, Vol. XXXIII, Part 4, pp.243-280.	
1972	On the Probability Distribution of the Number of Crossings of a Certain Response Level in Random Vibration	Memoirs of the Faculty of Engineering, Kyoto University, Vol.34, Part 1, pp.68-83.	
	不規則地震動に対する構造物の最大応答の推定法について	土木学会論文報告集 第201号, pp.1-12.	
1973	実地盤中に根入された模型ケーソン基礎の振動実験	京都大学防災研究所年報第16号B, pp.657-677.	後藤尚男・吉原 進・ 本久 明・弥田和夫・北川 隆

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1973	Reliability Theory of Structures with Strength Degradation in Load History	Memoirs of the Faculty of Engineering, Kyoto University, Vol. XXXV, Part 4, pp. 331-360.	T. Koike
1974	くり返し曲げ荷重下における構造用鋼材の破壊過程に関する一考察	京都大学防災研究所年報第17号B, pp. 157-169.	後藤尚男・小池 武・泉波雄二・脇田和武・杉原 豊
	荷重履歴による強度劣化を伴う構造物の信頼性理論	土木学会論文報告集 第228号, pp. 1-11.	小池 武
	地震時における剛体基礎の塑性沈下に関する一考察	土木学会論文報告集 第231号, pp. 1-8.	後藤尚男・和田 浩
1975	Reliability Theory of Deteriorating Structures	Journal of the Structural Division, Proceedings of the American Society of Civil Engineers, Vol. 101, No. ST1, pp. 295-310.	T. Koike
	強震地震動の非定常パワースペクトルの算出法に関する一考察	土木学会論文報告集 第235号, pp. 55-62.	
	On Estimation of the Maximum Structural Response to Random Earthquake Motion from Response Envelope	Memoirs of the Faculty of Engineering, Kyoto University, Vol. XXXVI, Part 4, pp. 458-472.	
	Hysteresis Model of Structural Materials under Repeated Elasto-Plastic Deformation	Memoirs of the Faculty of Engineering, Kyoto University, Vol. XXXVI, Part 4, pp. 473-487	T. Koike・R. Izunami
	構造用鋼材の塑性疲労破壊に関する確率統計的考察	京都大学防災研究所年報第18号B, pp. 377-393.	後藤尚男・小池 武・青山 功・脇田和武
	Evolutionary Spectra of Seismogram by Multifilter	Journal of the Engineering Mechanics Division, Proceedings of the American Society of Civil Engineers, Vol. 101, No. EM6, pp. 787-801.	
1977	構造物基礎-地盤系における減衰の非線形性に関する実験的研究	京都大学防災研究所年報第20号B-2, pp. 61-84.	後藤尚男・北浦 勝・光家康夫・井口温夫
	Random Fatigue Analysis of Structural Steel Bars Subjected to Plastic Bending	Memoirs of the Faculty of Engineering, Kyoto University, Vol. XXXIX, Part 2, pp. 270-284.	H. Goto・T. Koike
1977	Analysis of Flexural Behavior and Lateral Bucking of Inelastic Steel Beams under Cyclic Loads	Memoirs of the Faculty of Engineering, Kyoto University, Vol. XXXIX, Part 4, pp. 446-481.	H. Goto, H・Y. Kodama

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1978	地震危険度の解析における歴史地震資料の評価について	土木学会論文報告集 第273号, pp.135-138.	後藤尚男・杉戸真太・今西直人
	デジタルフィルタによるSMAC-B2加速度計記録の補正について	土木学会論文報告集 第277号, pp.57-69.	
1979	A Renewal Process Model for Use in Seismic Risk Analysis	Memoirs of the Faculty of Engineering, Kyoto University, Vol.41, Part 1, pp.11-35.	Y. Ozaki
	非定常強震地動の統計的予測モデル	土木学会論文報告集 第286号, pp.27-51.	後藤尚男・杉戸真太
1980	埋設管の震害予測のための地震動の推定法について	京都大学防災研究所年報第23号B-2, pp.13-27.	後藤尚男・高田吾郎・杉戸真太
1981	埋設管の震害予測のためのマイクロローニングについて	京都大学防災研究所年報第24号B-2, pp.23-46.	後藤尚男・杉戸真太・磯田厚志
	Seismic Hazard Estimation Based on Non-Poisson Earthquake Occurrence	Memoirs of the Faculty of Engineering, Kyoto University, Vol.43, Part 3, pp.397-433.	H. Takagi
	Seismic Risk and Performance of Water Lifelines	Probabilistic Methods in Structural Engineering, American Society of Civil Engineers, pp.179-195.	H. Goto・M. Sugito・K. Asaoka
1982	地震動の最大地動予測におけるN値を用いた地盤条件の評価法について	土木学会論文報告集 第317号, pp.69-78.	後藤尚男・杉戸真太
	Seismic Response Analysis of Joint-Connected Buried Pipelines Including Bent Sections	Memoirs of the Faculty of Engineering, Kyoto University, Vol.XLIV, Part 1, pp.182-221.	H. Goto・M. Sugito・Y. Ishikawa
	Simplified Formula for Axial Strains of Buried Pipes Induced by Propagating Seismic Waves	Memoirs of the Faculty of Engineering, Kyoto University, Vol.44, Part 2, pp.287-308.	M. Shinozuka
	上部工の拘束を考慮した多点入力高架橋の地震応答解析	京都大学防災研究所年報 第25号B-2, pp.1-32.	後藤尚男・浅村忠文
	大規模断層破壊による地震動の推定	京都大学防災研究所年報 第25号B-2, pp.33-52.	後藤尚男・杉戸真太・奥村俊彦
1983	Ground Strain Estimation for Seismic Risk Analysis	Journal of the Engineering Mechanics, American Society of Civil Engineers, Vol.109, No.1, pp.175-191.	M. Shinozuka・T. Koike

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1983	Effect of Ground Motion Duration on Seismic Design Load for Civil Engineering Structures -Development of Equivalent Ground Acceleration (EQA)-	Memoirs of the Faculty of Engineering, Kyoto University, Vol.45, Part 2, pp.140-184.	K. Kohno
	コンクリート補鋼部を有する有継手埋設管の地震時応力と継手変位の解析	京都大学防災研究所年報第 26 号 B-2, pp.51-73.	後藤尚男・杉戸真太・磯田厚志
1984	工学的基盤における地震動予測モデル	京都大学防災研究所年報第 27 号 B-2, pp.19-48.	後藤尚男・杉戸真太・斉藤宏・大滝 健
	Statistical Model for Estimation of Inelastic Response Spectra	Proceedings of the Japan Society of Civil Engineers, Structural Engineering / Earthquake Engineering, Vol.1-No2, pp.105-114.	Z. Milutinovic
1985	活断層データと歴史地震データを組み合わせた地震危険度解析	土木学会論文集 第362号/I-4, pp.407-415.	奥村俊彦
	Prediction of Nonstationary Earthquake Motions on Rock Surface	Proceedings of the Japan Society of Civil Engineers, Structural Engineering / Earthquake Engineering, Vol.2, No2, pp.149-159.	M. Sugito
1986	工学的基盤面と沖・洪積地盤面の地震動の変換係数	構造工学論文集, Vol.32A, pp.789-799.	杉戸真太・廣瀬純嗣
1987	マルチフィルターによる地震動の非定常相互スペクトル特性の解析	京都大学防災研究所年報第 30 号 B-2, pp.89-106.	沢田 勉・亀井紀幸
	リスク適合地震動のシミュレーション手法	京都大学防災研究所年報第 30 号 B-2, pp.107-119.	能島暢呂
	上水道における地震被害の経年的影響について	京都大学防災研究所年報第 30 号 B-2, pp.121-138.	杉戸真太・後藤尚男・神田 仁
	機械式およびデジタル強震計の記録精度について-SMAC強震計記録の補正法の検討-	京都大学防災研究所年報第 30 号 B-2, pp.45-55.	後藤尚男・杉戸真太・鈴木 裕
1988	ハザード適合マグニチュード・震大距離による地震危険度解析の拡張	土木学会論文集 第392号/I-9, pp.395-402.	石川 裕
1988	都市震害のシステム分析序論	京都大学防災研究所年報 第31号B-2, pp.67-91	岩井 哲・北原昭男・能島暢呂

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1988	1987年 Whittier Narrows 地震による都市型震害とその分析	京都大学防災研究所年報, 第 31 号 B-2, pp. 93-111.	高田吾郎・森田 環
	"Shell Model FEM Analysis of Buried Pipelines under Seismic Loading	Bulletin of the Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University, Vol. 38, pp. 115-146.	R. Yang・S. Takada
	Simulation of Risk-Consistent Earthquake Motion	Earthquake Engineering and Structural Dynamics," Vol. 16, pp. 1007-1019.	N. Nojima
	着目点載荷と渋滞荷重列の組合せによる道路橋の最大応荷重特性の解析	土木学会論文集, 第398号/I-10, pp. 285-294.	久保智郎
1989	載荷車両の動的効果を考慮した道路橋の地震応答特性	京都大学防災研究所年報, 第32号B-2, pp. 49-82.	北 哲之
	ライフライン系における地震防災システムの基本構造に関する考察	京都大学防災研究所年報, 第 32 号 B-2, pp. 89-109.	能島暢呂
	噴射注入工法による地中管路の地震時液状化対策に関する研究	京都大学防災研究所年報, 第 32 号 B-2, pp. 127-143.	高田吾郎・孫 建生
	Damage Assessment of Steel Elements for Seismic Reliability Estimation of Structural Systems	Bulletin of the Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University, Vol. 39, pp. 63-86.	U. Bourgard・S. Iwai・T. Nonaka
	載荷車両の動的効果を考慮した道路橋の地震荷重	構造工学論文集, Vol. 36A, pp. 791-801.	北 哲之・盛川 仁
1990	震害要因とその経年的影響に基づく上水道の耐震健全度評価	構造工学論文集, Vol. 36A, pp. 813-825.	神田 仁・杉戸真太
	Fundamental Structure of Earthquake Disaster Countermeasures in Lifelines	Journal of Natural Disaster Science, Vol. 12, No. 1, pp. 29-47.	N. Nojima・M. Shinozuka
	1989年ロマ・ブリエタ地震による被害と問題点	京都大学防災研究所年報, 第33号A, pp. 29-70.	
	クロス・インパクト法によるライフライン系の地震時相互連関のモデル化	京都大学防災研究所年報, 第 33 号 B-2, pp. 25-37.	能島暢呂
	1991	山形鋼管材の極低サイクル疲労破壊実験	京都大学防災研究所年報, 第 34 号 B-1, pp. 71-85.



発表年	論文名	発表誌名	共著者
1991	長周期微動の観測による1989 Loma Prieta 地震被害地域の地盤振動特性	京都大学防災研究所年報, 第 34 号 B-1, pp.191-209.	赤松純平・藤田雅之・市川信夫・南井良一郎
	ライフラインネットワークの震後復旧における最適経路に関する基礎的研究	京都大学防災研究所年報, 第 34 号 B-2, pp.27-44.	能島暢呂
	道路橋の最大活荷重特性に関する確率分布の解析解	土木学会論文集, No.432/1-16, pp.241-244.	久保雅邦
1992	山形鋼部材の極低サイクル疲労破壊実験(その2)	京都大学防災研究所年報第 35 号 B-2, pp.509-524.	岩井 哲・朴 鏡珠・野中泰二郎
	システム間相互連関を考慮した都市ライフライン系の地震リスク評価法	京都大学防災研究所年報第 35 号 B-2, pp.525-542.	能島暢呂・加藤多郎
	幹線・支線の階層性を考慮したライフライン系の最適震後復旧アルゴリズム	土木学会論文集, No.450/1-20, pp.171-180.	能島暢呂
	An Interpolating Stochastic Process for Simulation of Conditional Random Fields	Probabilistic Engineering Mechanics 7, pp.243-254.	H. Morikawa
	ロマ・プリエタ地震によるサンフランシスコ湾岸地域の交通サービスへの被害分析と交通運用策の評価	土木計画学研究・論文集, No.10, pp.103-110.	若林裕史
1993	山形鋼部材の極低サイクル疲労破壊実験	日本建築学会構造系論文報告集, 第 445 号, pp.139-149.	岩井 哲・朴 鏡珠・野中泰二郎
	交番変位載可を受ける鋼構造部材の極低サイクル疲労破壊実験	京都大学防災研究所年報, 第 36 号 B-1, pp.121-133.	岩井 哲・朴 鏡珠・磯部謙二・野中泰二郎
	Experimental Observation of Fatigue of Steel Members and Elements under Very Low Load-Cycles	Structural Dynamics, pp.771-778	S. Iwai・T. Nonaka・P. Yoen-Soo
1994	Multi-phase Evaluation of Lifeline System Performance under Earthquake Environment	Keynote Lecture, Proceedings of the 2nd China-Japan-US Trilateral Symposium on Lifeline Earthquake Engineering, pp.1-16.	
	Conditioned Stochastic Processes for Conditional Random Fields	Journal of Engineering Mechanics, ASCE, Vol.120, No.4, pp.855-875.	H. Morikawa
1994	鋼部材の極低サイクル繰り返し載荷による亀裂発生と損傷の評価のための有限要素解析	京都大学防災研究所年報, 第 37 号 B-1, pp.69-87.	岩井 哲・朴 鏡珠・野中泰二郎

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1994	Probabilistic Seismic Hazard and Stochastic Ground Motions	Engineering Structures, Vol.16, pp.547-557.	
	1993年鉾路中地震による都市施設被害と生活支障アンケート調査報告	日本建築学会構造系論文集 第464号, pp.81-90.	藤原隆三・林 春男・ 岩井 哲・北原昭男・能島綱呂
1995	地震時のシステム間相互連関を考慮したライフライン系のリスク評価法	土木学会論文集, No.507/1-30, pp.231-241.	能島綱呂
	文部省緊急プロジェクト「兵庫県南部地震をふまえた大都市災害に対する総合防災対策の研究」(報告書)	京都市防災研究所, 全37p.	研究代表者: 亀田川行
	兵庫県南部地震における都市災害について	京都市防災研究所年報 第38号A, pp.99-121.	
	ロマ・ブリエタ地震後のサンフランシスコ沿岸地域の道路網運用の効果分析と災害時の道路網計画	1995年度第30回日本都市計画学会学術研究論文集 pp.91-96.	若林拓史
	DiMSIS: A Geographic Information System for Disaster Information Management of the Hyogoken-Nanbu Earthquake	Natural Disaster Science, Vol.16, No.2, pp.89-94.	S. Kakumoto・S. Iwai・ H. Hayashi・T. Usui
1996	Very Low Cycle Failure Process of Steel Angle Members	Journal of Structural Engineering, pp.133-141.	P. Yeon-Soo・ S. Iwai・T. Nonaka
	1995年兵庫県南部地震による西宮市の都市施設被害のGISデータベース化と多重分析	GIS—理論と応用, Vol.4, No.2, pp.63-73.	岩井 哲・碓井照子・ 盛川 仁
1997	確率論的想定地震の概念と応用	土木学会論文集, No.577/1-41, pp.75-87.	石川 裕・奥村俊彦・ 中島正人
	Stochastic Interpolation of Earthquake Ground Motions under Spectral Uncertainties	Structural Engineering and Mechanics, Vol.5, No.6, pp.839-851.	H. Morikawa
1997	Roles of Reliability Concepts and Methodologies in Earthquake Engineering -With an Emphasis on Lifeline Systems-	Keynote Lecture at the Structural Safety and Reliability, (N. Shiraishi, M. Shinozuka and Y.K. Wen: editors), ICOSAR'97, Vol.1, pp.39-47.	
	Seismic Hazard from Low Frequency - High Impact Fault Activities Using	Structural Safety and Reliability, (N. Shiraishi, M. Shinozuka and Y.K. Wen:	Y. Ishikawa・ T. Okumura

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1997	Probabilistic Scenario Earthquakes	editors), ICOSSAR '97, Vol.III, pp.1519-1524.	
	Optimum Subdivision Control of an Extended System under Earthquake Emergency	Structural Safety and Reliability, (N. Shiraishi, M. Shinozuka and Y.K. Wen: editors), ICOSSAR '97, Vol. III, pp.1561-1568.	N. Nojima
1998	Stochastic Simulation of Microseisms Using Theory of Conditional Random Fields	Pure and Applied Geophysics, No.151, pp.81-99.	H. Morikawa・ J. Akamatsu・ K. Nishimura・K. Onoue
	地震時リアルタイム制御のための大規模システムの最適分解	土木学会論文集, No.598/1-44, pp.97-109.	能島暢呂
	Research Efforts and Initiatives in Japan for Earthquake Disaster Mitigation	Proc. of the 1st Int'l Symp.on New Development in the Earthquake Hazard Mitigation Technology for Moderate Seismicity Regions, Korea Earthquake Engineering Research Center, pp.32-45.	
	Development of Earthquake and Tsunami Disaster Mitigation Technologies and Their Integration for the Asia-Pacific Region	Keynote Address, Proc. of the Multi-lateral Workshop on Development of Earthquake and Tsunami Disaster Mitigation Technologies and Their Integration for the Asia-Pacific Region, EDM-RIKEN/STA, EDM Report No.2, pp.6-15.	
1999	暗示(算出)型位相記述による時空間管理手法を用いた随時データ更新と防災GISの実現—リスク対応型地域空間情報システム(RARMIS)の実現に向けて—	京都大学防災研究所年報, 第42号B-2, pp.23-32.	角本 繁・畑山満則
	ライフラインの地震防災—歴史的展開と「神戸」からの教訓—	水道協会雑誌, 第68巻, 第5号(第776号), pp.6-13.	
1999	橋梁—車両連成系による道路橋の地震応答特性	土木学会論文集, No.626/1-48, pp.93-106.	室野剛隆・南莊 淳・ 佐々木伸幸
	時空間地理情報システム DIMSIS の開発	G I S—理論と応用, 地理情報システム学会, Vol.7, No.2, pp.25-33.	畑山満則・松野文俊・ 角本 繁

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1999	交通手段選択における所要時間信頼性の影響と交通サービス途絶時の意識変化に関する研究	土木学会論文集, No.632/IV-45, pp.29-40.	若林拓史・浅岡克彦・飯田恭敬
2000	交通システムを中心とする日米の地震対応計画について	自然災害科学, Vol.18, No.4, pp.449-464.	浅岡克彦・若林拓史
	災害エスノグラフィーの標準化手法の開発—インタビュー・ケースの編集・コード化・災害過程の同定—	地域安全学会論文集, No.2, pp.267-276.	田中 聡・林 春男・重川希志依・浦田康幸
	EQTAP - A New Challenge for Realizing Safety and Sustainability against Earthquake and Tsunami Disasters in Asia-Pacific Regions - Steps towards the EQTAP Master Plan-	General Report. Proceedings of the Third Multi-Lateral Workshop on Development of Earthquake and Tsunami Disaster Mitigation Technologies and Their Integration for the Asia-Pacific Region, pp.15-24.	

著 書

発表年	著 者 名	出 版 社	共 著 者
1981	新体系土木工学「確率・統計解析」	土木学会/技法堂出版	池淵周一・春名 攻
1984	新鉄道システム工学	山海堂	柏谷増男・星野鐘雄・ 朴 性辰(編著)
1989	動的解析と耐震設計	土木学会/技法堂出版	(分担執筆)
1990	土木構造物の診断	山海堂	(編著)

解 説 記 事

発表年	著 者 名	出 版 社	共 著 者
1972	構造物の耐震設計	土木学会誌, pp.55-57.	
1984	耐震工学, 特集—世界の中の日本の土木	土木学会誌 pp.25-26.	
1989	近代都市の耐震対策	土木学会誌, pp.26-29.	
1990	都市震害の経験に学ぶ—都市の耐震性を向上しているか—	京大防大研究所公開講座「都市の防災」 (第1回), pp.93-116.	
1992	Developments of Lifeline Earthquake Engineering	Proc. of the IDNDR Symposium on Earthq. Disaster Reduction Technology, Tsukuba, IISEE, Building Research Institute, pp.111-128.	N. Nojima
1995	Roles played by the US-J/J-US Workshop on Urban Earthquake Hazard Reduction —reviews and a perspective for the Fourth Workshop—	Proc. of the 4th Japan/United States Workshop on Urban Earthq. Hazard Reduction, General Report, Institute of Social Safety Science, pp.9-18.	
1996	低頻度巨大災害へのライフラインの備え、—阪神・ 淡路大震災の複合都市災害の中で—	日本エネルギー学会誌, 第74巻, 第9号, pp.752-759.	
1996	兵庫県南部地震が残した課題—「低頻度巨大災害」 への備え—	川田技報, Vol.15, pp.1-7.	
1997	Proposed U. S.-Japan Cooperative Research for Urban Earthquake Disaster	Proc. of the International Symp. on Natural Disaster Prediction and	

発表年	著者名	出版社	共著者
	Mitigation -Perspective from Japan Side-	Mitigation, Kyoto, General Report, organized by Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University, pp.57-63.	
1998	Urban Lifelines under Seismic Environment -Developments and Lessons Learned from Kobe-	Keynote Address, Proc. of the IWSA International Workshop on Anti-Seismic Measures on Water Supply, pp.22-33.	
1999	Recent Developments and Research Initiatives for Urban Earthquake Disaster Mitigation	Keynote Address, Proc. of the 6th Japan/United States Workshop on Urban Earthquake Hazard Reduction, ISSS/EERI, Kobe, pp.17-30.	
	防災／日常の情報課題の連携と地理情報システム(GIS)の活用	一リスク対応型地域空間情報システムの提言一、予防時報、第197号、pp.8-13.	
2000	20世紀の災害から21世紀の防災へー阪神・淡路大震災が土木技術者に課した使命一、特集 阪神大震災からの教訓「21世紀に何を引き継ぐか」、総説、	土木学会誌、Vol.85、1月号、pp.28-31.	
	Engineering Management of Lifeline Systems under Earthquake Risk	State-of-the-Art Paper, CD-ROM Proceedings of the 12th World Conference on Earthquake Engineering, paper no. 2827.	
	防災研究の縦系と横系	自然災害科学、巻頭言、Vol.19、NO.2、pp.137-138.	
	Recent Developments and Research Initiatives for Urban Earthquake Management Technologies	Proc. of the Second Civil Engineering Conference in the Asian Region, pp.149-158.	
2001	Framework of EqTAP Master Plan Development	Proc. of the 4th Multi-lateral Workshop on Development of Earthquake and Tsunami Disaster Mitigation Technologies and their Integration for the Asia-Pacific Region -EqTAP-, pp.64-70.	